

和歌山だよい



2015 紀の国わがやま大会



平成27年10月号
(2015)

和歌山県会場地マップ

●…正式競技

○…オープン競技

和歌山市

- 総合開・閉会式
- 陸上競技(身・知)
- 水泳(身・知)
- 卓球(身・知)【サウンドテーブルテニス(身)を含む】
- 車椅子バスケットボール(身)
- 車いすテニス(身)
- 卓球バレー(身・知・精)

岩出市

- バレー・ポール(身)
- ボウリング(知)

海南市

- バレー・ポール(知)

紀の川市

- ソフトボール(知)
- グランドソフトボール(身)
- フットベースボール(知)
- サッカー(知)

日高川町

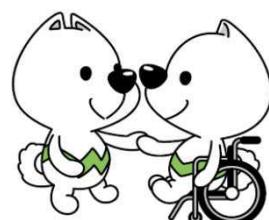
- アーチェリー(身)

田辺市

- バスケットボール(知)
- バレー・ポール(精)

上富田町

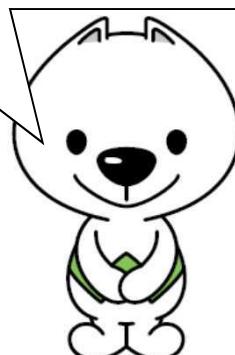
- フライングディスク(身・知)



紀の国わかやま国体では、お陰をもちまして念願の男女総合優勝を果たすことができました。
御声援ありがとうございました。
次は、紀の国わかやま大会です。
引き続き応援よろしくお願いします。

CONTENTS

1. 知事メッセージ……… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P15
3. お知らせ…………… P16～P17
4. ふるさと歳時記……… P18～P19



さあ国体だ

いよいよ9月26日に「紀の国わかやま国体」がスタートします。引き続き全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」も10月24日に始まります。8年余り前、知事就任後すぐに国体・大会開催受諾に舵を切り、はじめからずっと構想を練り、さまざまな準備を進めてきた私にとっても万感胸に迫るものがありますが、多くの県民の皆さんも同じ思いではないかと推察しています。

「国体まで」を合い言葉に推進してきました高速道路や県内主要ネットワーク、府県間道路、さらには主要都市の骨格となる幹線道路が次々と完成しつつあります。できるだけ県内全域でという考えのもとに競技の実施は県内各地に広がりますが、それぞれの競技施設もかなり早期に完成し、和歌山県チームが実戦さながらの練習を行ってきました。県民総参加の国体・大会を掲げて、広く県民の皆さんに参加を呼びかけたところ、国体・大会の運営を手伝ってくださるボランティアもあつという間に集まりました。先催県と違い、和歌山では企業ボランティアより、個人ボランティアが圧倒的に多いという事は、県民一人ひとりの熱意が高い証拠と誇りに思います。また美化活動、花いっぱい運動、おもてなし宣言など県民の多くの方々のご協力も得て、心強い限りです。9月26日天皇皇后両陛下をお迎えして行われる国体総合開会式をはじめ、開・閉会式典は、このような県民総参加の精神がよく分かるような演出を考えています。

和歌山県選手団の諸君もがんばっています。万年40番台の順位からどんどん上昇し、今や男女総合優勝天皇杯の獲得も視野に入る程、最近の選手の活躍はめざましいものがあります。

国体・大会のスローガンは「躍動と歓喜、そして絆」です。全国からみえる多くの仲間との絆がいつまでも続くように、県民をあげて笑顔と親切心でおもてなしをしましょう。



9/15 定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●紀の国わかやま国体で和歌山県が念願の男女総合優勝！

- ・第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」において、和歌山県選手団は男女総合得点2257点を獲得し、念願の男女総合優勝(天皇杯獲得)を果たしました。
- ・この優勝は、選手のたゆまない努力と、そして県民の皆さんをはじめ御声援いただいたすべての皆さんの思いが通じ獲得できたものです。県民の皆さんをはじめ、企業や団体の皆さんとの絶大なる御支援、そして力強い御声援、誠にありがとうございました。



- ・10月24日から始まる第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」にも、御支援、御声援をよろしくお願ひします。
- ・国体の競技施設やその沿道には、県内の幼稚園児から自治会の方々まで多くの方々に御参加いただき、30,000基を超えるプランターで育てられたいっぱいの花々が、来場者をお迎えしました。さらに、各競技施設では、多くのボランティアの方々が、選手や来場された皆さんを笑顔で迎え、心のこもったおもてなしにより運営しました。
- ・来県された方からは、「県民の熱烈な応援、心のこもったおもてなしに感動した。」、「明るく爽やかな歓迎も印象に残った。」などの声が数多く寄せられました。

○総合開会式

- ・9月26日、総勢約21,000人の参加を得て、天皇皇后両陛下御臨席のもと、和歌山の魅力満載の演技と観客と一体となった演出による総合開会式を開催しました。特に、式典前演技では、「森の“みち”」、「海の“みち”」、「心の“みち”」、「“みち”は未来へ」の4章で構成した「紀の国の“みち”」をテーマに、県内の幼稚園児から高齢の方々まで約2,800名が出演し、自然豊かな和歌山の魅力を発信するとともに、会場にいるすべての人に国体が開催できることの歓びの気持ちを届けました。そのフィナーレでは、出演者がベートーベンの第9交響曲の音楽に合わせて合唱、その歌詞が大型ビジョンに写し出されると観客の方々も歌い出すというサプライズが起こり、歓迎ムードのボルテージは最高潮に達しました。
- ・会場はもとよりテレビを御覧になった方々から、「感動した。」、「素晴らしい。和歌山を誇りに思う。」、「心に残る国体になるだろう。」といった声をたくさんいただきました。
- ・式典前演技に続き、各都道府県の選手団が入場、最後に和歌山県選手団が入場した際には、場内がひときわ大きな拍手に包まれました。その後、炬火に点火され、選手宣誓もあり、いよいよ熱戦の火蓋が切って落とされる緊張感に一気に包まれました。

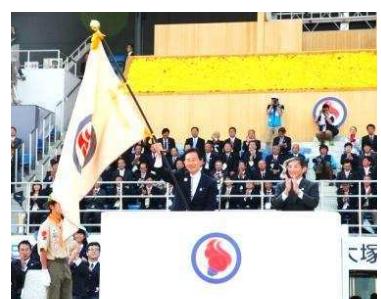


○競技

- ・総合開会式前に実施されたセーリング競技、体操競技において優勝するなど、和歌山県は、男女総合9位につけていました。開会式後は、レスリング、自転車などで着実に得点を重ねる一方で、上位進出が期待されていた競技でくじ運悪く強豪に敗れるなどのとりこぼしもあり、最後までハラハラドキドキの展開でした。しかし、10月4日、5日、各競技で大躍進が始まり、ついに男女総合優勝を果たすことができました。

○総合閉会式

- ・熱戦を締めくくる総合閉会式が10月6日に開催され、男女総合優勝を果たした和歌山県に、日本体育協会 張富士夫会長



から表彰状が、御臨場の秋篠宮殿下から天皇杯が授与されました。

・また、国体実行委員会会長の仁坂知事から、来年国体が開催される岩手県知事に国体旗が手渡されたほか、「紀の国わかやま大会」に出場する 生馬知季選手に炬火が引き継がれました。

○紀の国わかやま国体 優勝者

(順不同、敬称略)

競技	種別	種目	氏名	所属
ボクシング	成年男子	フライ級	林田 翔太	県庁
		ライトウェルター級	井上 浩樹	株式会社目良建設
剣道	成年男子		横尾 英治	(公社)県スポーツ振興財団
			田中 紀行	日高高等学校教員
			杉山 公敏	県警察
			笠原 周	県警察
			藤岡 弘径	和歌山北高等学校教員
空手道	成年女子		林 美紀子	箕島高等学校教員
			村田佳那子	和歌山市立四箇郷北小学校教員
			坂口華乃子	和歌山市立東和中学校教員
陸上	成年男子	組手(個人)中量級	北原 暉人	(公社)県スポーツ振興財団
	成年女子	組手(個人)	岩戸 美紗	近畿大学
	少年男子	形	藤田 心	大阪学芸高等学校
陸上	成年男子	110m ハードル	和戸 達哉	県教育庁
ホッケー	成年男子		坂本 博紀	県教育庁
			清水 大貴	日高高等学校中津分校教員
			戸田 和孝	株式会社松源
			谷口 直哉	有限会社丸一工業
			佐々木康介	株式会社松源
			小澤 浩平	紀美野町教育委員会
			西川 尚裕	湯浅町役場
			北村 貴之	株式会社松源
			田中 翼	株式会社淺川組運送
			田中 健太	県教育庁
			大西 春輝	日高川町立美山中学校教員
			江川 佑樹	株式会社松源
馬術	成年男子	馬場馬術競技	増元 拓巳	ラ・グレース乗馬俱楽部
カヌー	成年男子	カヌースプリント カナディアン シングル 200m、500m	阪本 直也	県教育センター学びの丘
	成年女子	カヌースラローム カヤックシングル 15ゲート、25ゲート	伊藤 由佳	株式会社松源
テニス	成年男子	団体	奥 大賢	紀洋石油株式会社
			長尾 克己	紀洋石油株式会社
レスリング	成年男子	フリースタイル 61kg 級	湯元 進一	自衛隊体育学校
	少年男子	グレコローマンスタイル 60kg 級	宇井 大和	新宮高等学校
		フリースタイル 66kg 級	三輪 優翔	和歌山北高等学校
		フリースタイル 74kg 級	吉田 隆起	和歌山北高等学校

今月の和歌山県政トピックス

競技	種別	種目	氏名	所属
ソフトテニス	成年男子	団体	増田 健人	県教育庁
			桂 拓也	県教育庁
			塩崎 弘騎	県庁
			村田 匠	日本体育大学
			杉尾 卓馬	株式会社大鹿印刷所
	少年女子	団体	小山 舞	和歌山信愛高等学校
			黒田 麻衣	和歌山信愛高等学校
			貝瀬ほのか	和歌山信愛高等学校
			笠井 佑樹	和歌山信愛高等学校
			鈴木 梨沙	和歌山信愛高等学校
フェンシング	少年女子	フルーレ	東 莉央	和歌山北高等学校
			東 晟良	和歌山北高等学校
			巾下 可蓮	和歌山北高等学校
ウェイトリフティング	成年男子	77kg 級スナッチ	白草 竜太	紀北工業高等学校職員
		94kg 級クリーン&ジャーク	川畑 源大	那賀高等学校教員
なぎなた	成年女子	試合	山本 千代	県教育庁
			山内 綾	紀の川市立貴志川中学校教員
			角谷 香織	九度山町教育委員会
	少年女子	演技	石原 葉月	近畿大学附属新宮高等学校
			西平 春菜	和歌山信愛高等学校
自転車	成年男子	個人ロード・レース	窪木 一茂	県教育庁
		スプリント	橋本 凌甫	県教育庁
	少年男子	スプリント	布居 大地	和歌山北高等学校
		1km タイム・トライアル	南 潤	和歌山北高等学校
	男子	4km チーム・パーシュート	窪木 一茂	県教育庁
			佐々木眞也	日本大学
			岡本 隼	日本大学
			森口 寛己	日本大学
水泳(競泳)	成年男子	50m 自由形	富田 一穂	県庁
体操(競技)	成年男子	団体総合	田中 和仁	徳洲会
			田中 佑典	コナミスポーツ＆ライフ
			井村 太祐	和歌山工業高等学校教員
			柴田 快輝	田辺市役所
			楠川 雄太	順天堂大学
	成年女子	団体総合	北野 宅子	県教育庁
			荒川 真衣	県教育庁
			大瀧 千波	県体操協会
			新垣まどか	紀の川市立打田中学校教員
			西野美都季	日本体育大学
セーリング	成年女子	セーリング	宮川 恵子	和歌山セーリングクラブ
		スピリット級	栗栖 佐和	県セーリング連盟
		レーザーラジアル級	多田 桃子	県セーリング連盟

●天皇皇后両陛下が本県に行幸啓されました

・9月25日から27日、天皇皇后両陛下は「紀の国わかやま国体」御臨場のほか地方事情を御視察されました。今回の御来県は、平成23年5月の「第62回全国植樹祭」に御臨席以来4年ぶりとなります。



・9月25日は、田辺市の「県立情報交流センターBig・U」において、県勢概要を御聴取の後、紀伊半島大水害の被災者の方々と御懇談をされました。両陛下は、多くの犠牲者が出了この大水害を発生当時からずっと気にかけておられ、この日を長くお待ちになっていたご様子で、「お寂しいことと、お察しします。」「お体は大丈夫ですか。」とお一人おひとりに大変心のこもった激励の言葉をおかけになっておられました。

・9月26日は、国体の総合開会式に御臨席されました後、広川町の「稻むらの火の館」にて、津波防災や濱口梧陵の功績等に関する展示を熱心に見て回られ、濱口梧陵の生い立ちなどについて詳しく御質問されました。9月27日には、みなべ町の「県果樹試験場うめ研究所」を訪問され、最新の研究成果を御覧になり、「研究は桃等にも応用できるのですか。」など御質問されました。また、白浜町で行われた国体の卓球競技を御覧になり、選手のスピーディーな試合展開に大きな拍手を送られました。

・両陛下がお立寄りされた施設や沿道には、多くの県民の方々が日の丸を振って御来県を歓迎し、両陛下がそれに応えられ手を振られた際には、大きな歓声があがりました。

●皇室のお成り

・紀の国わかやま国体開催期間中、常陸宮同妃両殿下、秋篠宮同妃両殿下をはじめ多くの皇室の方々が御来県され、競技御覧や地方事情を御視察されました。

	御日程	概要
常陸宮同妃両殿下	9月29日～9月30日	バレーボール、ハンドボール競技等御覧 県立博物館、県立近代美術館御視察 等
秋篠宮同妃両殿下	10月5日～10月6日	柔道競技御覧、総合閉会式御臨席 県畜産試験場養鶏研究所、花王㈱御視察 等
高円宮妃殿下	9月30日～10月2日	サッカー、ホッケー競技御覧 等
瑠子女王殿下	10月2日～10月3日	紀伊半島大水害復興状況御聴取 等
彬子女王殿下	10月3日～10月4日	ソフトボール、バドミントン競技御覧 等
寛仁親王妃殿下	10月4日～10月5日	山岳、空手道競技御覧 等

●岩手県・宮城県・福島県の小学生全員に本県の「みかん」をお届けします！

・県では、東日本大震災により甚大な被害を受けた「岩手県・宮城県・福島県」の小学生全員に元気をつけてもらうため、11月下旬から12月上旬に和歌山のおいしい「みかん」をお届けします。3県の小学校約1,300校、約28万人に、温州みかんの中でも一番おいしい「秀品」のM・Sサイズを約7,000箱(1箱5kg)送ります。



・この取組は、国民体育大会そのものが、東日本大震災復興支援ということで、平成23年の山口国体から行われています。紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会も、「とどけ

今月の和歌山県政トピックス

ようスポーツの力を東北へ！」を合言葉に、「東日本大震災復興支援」の大会と位置付けられています。これまでの開催県では、金銭的な支援が中心でしたので、県産品での支援は初めてのこととなります。

・なお、両大会の開閉会式会場である紀三井寺公園の「きいちゃん広場」内に、防災教育や啓発、東北観光案内や特産品販売等を行う「東日本大震災復興支援ブース」を設置したほか、東日本大震災で被災され和歌山県内に避難している方々を、国体の総合開会式と総合閉会式に御招待しました。

●「和歌山県国土強靭化計画」を策定

・和歌山県は、地形的・気象的な特性から度重なる災害を経験し、多くの尊い人命を失い、莫大な経済的・社会的・文化的損失を被ってきました。南海トラフ沿いの3つの領域(東海・東南海・南海)では、これまで約90年から150年の周期で繰り返し津波を伴う地震が発生し、南海トラフの震源域が近い紀伊半島は、津波により大きな被害を受けてきました。また、日本有数の多雨地域であるとともに、急峻な地形が多く、各河川の河口に広がる堆積低地を中心に市街地が発達しているため、毎年のように豪雨や台風による水害や土砂災害が発生しています。

・県では、従前から防災・減災対策に取り組んできましたが、東日本大震災、紀伊半島大水害を契機として、これらの対策を一から見直す総点検を実施し、「東海・東南海・南海3連動地震」等による浸水想定を行い、これに基づき津波から『逃げ切る！』支援対策プログラムを策定しました。そしてこの度、防災・減災対策について全庁を挙げて再点検し、「何よりも守らなければならないのは人命である。」という“犠牲者ゼロを実現”するために、①津波への備え、②地震への備え、③風水害等への備え、をはじめの三本柱とし、さらに、“県民生活の再建と産業の復興” “強くしなやかな国づくりに向けて”の、中長期的に取り組むべき施策やその指標・目標を設定した「和歌山県国土強靭化計画」を策定しました。

・今後概ね10年後を見据えつつ、5年間を推進期間として計画に掲げた目標を達成するための取組を実施していきます。

和歌山県国土強靭化計画(抜粋)

災害による犠牲者ゼロの実現①(津波への備え)

- 最大の危機は南海トラフの地震によって引き起こされる大規模津波
- 紀伊半島は南海トラフの震源域に近く、津波の到達が早いため、津波避難困難地域が存在

○津波避難に対する考え方の抜本的な見直し

住民がどの避難場所に逃げるべきかを各自で判断できるよう、避難先安全レベルを設定し、時間的に余裕がある場合は、より安全な場所へ避難することを引き続き徹底する。

○迅速な避難を促す津波情報の伝達

海底に設置された地震・水圧計の観測情報を活用し、正確な津波予報を提供する地点を県内沿岸全域に拡大する。

○津波避難困難地域の解消

津波避難困難地域の全ての住民が津波から避難できるよう、優先的、緊急的に対策を実施し、概ね10年で津波避難地域の解消を目指す。

- ・具体的な避難可能経路を設定し、避難訓練等を実施
- ・津波避難ビルの指定、避難路・避難階段、避難タワー等の整備
- ・津波第1波の浸水を抑制する堤防、護岸の嵩上げや耐震化の実施

災害による犠牲者ゼロの実現②(地震への備え)

- 紀伊半島は南海トラフに近く、内陸の一部まで地震の震源域が達するため、県内全域で強い揺れが予測
- 3連動地震では約3万3千棟、南海トラフ巨大地震では約8万5千棟の建物が地震の揺れ等により全壊する想定

○建築物等の倒壊等への備え

建物倒壊により人命が失われることのないよう、建物の耐震化に重点的に取り組む。

- ・医療施設や福祉関連施設、学校施設など、公共施設等の耐震化を一層促進
- ・住宅の耐震化について、耐震診断の無料化や設計、改修への支援を引き続き実施
- ・避難所等の機能を有する大規模建築物について、耐震診断から設計、改修の全てにおいて引き続き支援

災害による犠牲者ゼロの実現③(風水害等への備え)

- 近年、台風や集中豪雨により、河川の氾濫等による市街地等の浸水リスクが高まっている
- 土砂災害危険箇所が18, 487箇所(全国6位)と多く、がけ崩れ等の土砂災害も毎年のように発生

○風水害の避難に対する考え方の抜本的な見直し

避難勧告等の発令を的確かつ迅速に行い、住民の早期避難を促すため、市町村の避難勧告等の発令基準の見直しを一層促進する。

また、市町村が早期かつ的確に避難勧告等の発令を判断できるよう、高精度な短長期の降水予測情報を市町村に引き続き提供する。

○洪水・浸水対策の推進

洪水被害を未然に防止するため、予算を倍増して取り組んできた河川整備を引き続き実施するとともに、危険度の高いため池の改修を加速的に実施する。

○土砂災害対策の着実な推進

土砂災害から人命を守るため、危険性を周知する土砂災害警戒区域等を早期指定するとともに、計画的に砂防施設を整備する。

発災直後の救助体制と早期復旧体制の確保

- 生存率が急激に低下すると言われる72時間以内に人命を救助し、救援、医療活動を迅速に行うための体制等を整備

○災害応急体制の整備

避難所における不足物資等への対応を迅速に行うため、あらかじめ市町村ごとに定めた県職員(720名)を災害時緊急機動支援隊として速やかに被災市町村へ派遣し、ニーズを把握する。

○救助・救援に資するルートの確保

救助や物資供給を行うための“命の道”となる紀伊半島一周道路、京奈和自動車道の整備や府県間道路等の整備を促進する。

県民生活の再建と産業の復興

- 復旧、復興が遅れると県民が再建する気力を失い、地域の活力も失われるため、平時から被災を想定した計画・体制等を整備

○復旧、復興に向けた体制の整備及び人材の確保

支援金など公的支援を受けるために必要となる住家被害認定の手続を迅速に進められるよう、住家被害認定士を引き続き養成するとともに、市町村と協力して認定業務を円滑に進める

今月の和歌山県政トピックス

住家被害認定士リーダー(県職員)を派遣する。

また、災害廃棄物処理を迅速に進めるため、経験が豊富な県職員を予め災害廃棄物処理支援員に任命し、発災後速やかに被災市町村へ派遣する。

強くしなやかな国づくりに向けて

○国土のリダンダンシー(交通ネットワークの多重化)の確保

○次世代につなぐ防災教育の推進

●「世界津波の日」(毎年11月5日)の制定に向けて

・津波による甚大な被害となった東日本大震災を踏まえ、広く津波対策についての理解と関心を深めることなどを目的に、濱口梧陵の「稻むらの火」の故事にちなんだ11月5日は、「津波対策の推進に関する法律」で、「津波防災の日」と定められています。

・津波は発生すると甚大な被害をもたらすため、その対策は多くの国で重大な課題となっています。津波対策への意識を高めることにより世界の人々の命を守るため、日本政府は毎年11月5日を「世界津波の日」とするよう、国連総会での採択に向け、各国大使などの要人に対する啓発活動などに取り組んでいるところです。

・こうした中、9月12日、ミクロネシア連邦、パプアニューギニア独立国、トンガ王国、マーシャル諸島共和国、パラオ共和国の5か国の太平洋島嶼国の駐日大使が来県し、「津波防災の日」の原点である「稻むらの火」の舞台となった広川町の「稻むらの火の館」を視察しました。濱口梧陵の防災精神や津波対策を知っていただくことで、「世界津波の日」の制定につながるものと期待されます。なお、今回視察に訪れた各國の大使は「世界津波の日」制定についての支持を表明しました。

・県では、「世界津波の日」制定の趣旨に賛同しており、来県される海外要人などに対し、「津波防災の日」に関する取組などを引き続き説明していきます。



●インド・マハラシュトラ州ファドナヴィス首相が来県！

・今年3月の仁坂知事によるインド・マハラシュトラ州への訪問を受け、同州のファドナヴィス首相を団長とする一行が来県されました。9月10日、両県州の交流の一環として、インド憲法の父で同州の英雄であるアンベードカル博士の記念碑を高野山に設置し行われた除幕式に首相一行が出席、そのほか、インドからの訪日者約80名を含む約500名が参加する盛大なものとなりました。

・また、式典に先立ち、高野山大学と同州立ババサヘブ・

アンベードカル・マラサワダ大学との交流に係る協定の調印式も行われました。

・9月12日には、東京有楽町駅前広場において、和歌山県、インド・マハラシュトラ州文化・観光プロモーションを開催し、お互いの世界遺産を紹介しました。那智山青岸渡寺



熊野修験者による法螺貝演奏や同州文化交流団によるインド舞踊・ボリウッドダンスが披露され、首相一行も観覧しました。

・さらに、県の協力のもと首相一行は、大阪、東京において、「投資機会セミナー」及び「観光プロモーション」を開催しました。同セミナーには、県から多くの企業に参加を呼びかけた結果、大阪で約100名、東京で約200名もの事業者が参加しました。ジェトロ・ムンバイ事務所の古川所長やマハラシュトラ州産業開発公社のブシャン・ガグラニ最高経営責任者、既に同州に進出している日本企業から、同州の最新投資環境や「日本専用工業団地」計画、設立から現在に至るまでの経験談について紹介されました。

・「観光プロモーション」には、それぞれ約100名の観光関係事業者やメディア関係者が参加する中、同州観光庁のワルサ・ナヤ・シン次官、同州観光開発公社のパラーグ・ジェイン総裁から同州の観光地や魅力について紹介されました。また、駐日インド大使館での観光プロモーションでは、県の津井国際担当参事が、本県と同州との交流について紹介しました。ファドナヴィス首相は、和歌山県のおかげで今回の訪日が成功したとのコメントを残されました。

●移住者向けの住宅ローン制度が始まります！！

・県と紀陽銀行の間で締結した「県経済の活性化に向けた包括的連携協力に関する協定」(平成20年)に基づき、紀陽銀行では、和歌山県(すべての市町村が対象)への移住を金融商品から支援する「移住・定住促進住宅ローン」の取扱いを9月10日から開始しています。また、全本支店(108店舗)において、移住コーナーの設置や移住に関する相談対応などを行っています。

・県では、「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「移住・定住大作戦」と銘打って、移住希望者の「くらし・住まい・しごと」に関する情報発信や移住支援等の施策を強力に展開していますが、紀陽銀行でも移住促進に取り組んでいます。

・この金融商品は、県外から和歌山県内に移住し、自らが居住する住宅を新築または中古住宅を購入する方を対象に、住宅ローン金利引き下げ幅を拡大するとともに、従来、申込みに際して前提となる勤続年数を審査要件から撤廃するなど、移住者に対して住宅ローンの申込みができる環境を広く整えるものです。

・和歌山県への移住・定住をお考えの際は、こうしたお得な制度を御利用ください。



各店舗内移住コーナー

(設置イメージ)

○和歌山「移住・定住促進住宅ローン」の概要(実施事業者：紀陽銀行)

利用条件：以下の3点を満たす方

- ①県外から和歌山県へ移住予定、または移住後3年以内の方
- ②原則、定住を目的として世帯全員で移住される(している)方
- ③勤続・営業年数は問わない。ただし、転職・新規事業を含め、給与収入・営業所得により安定した収入が見込める方

資金使途：住宅及び住宅用土地の購入、住宅新築、中古住宅購入、リフォームに係る資金

摘要金利：店頭掲示の住宅ローン基準金利より、最大年2.000%引き下げ
変動金利 年0.675%～(別途保証料等が必要です)

※金利引き下げ幅は、申込内容等により個別に決定されます。

●「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン」実施中！

・9月1日から12月6までの間、県観光連盟では今年も首都圏からの誘客を目的に、様々なイベントやPR活動を集中して実施する「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーーン」を展開しています。

・先月号でもお知らせしました「和みわかやまプレミアムキャンペーーン」をはじめ、高野山開創1200年記念・秋の特別開帳、双子パンダ、日本とトルコの合作映画「海難1890」、平成28年放送予定のNHK大河ドラマ「真田丸」などの機会に、和歌山の魅力を大いに発信し、各種メディア、旅行会社等の御協力をいただきながら、誘客の促進につなげていきます。

・9月1日には、ホテルニューオータニ(東京都千代田区)でオープニングイベントを開催し、第1部で、県内各地域と旅行会社21社との情報交換会を実施しました。第2部のレセプションでは、首都圏のメディア、旅行会社等関係者約250人に参加いただき、仁坂知事が、歴史や自然、食などいろいろな味わいができるのが和歌山県の魅力であるとPRしました。また、ふるさと大使の小西博之さん、パンダ大使の岡本玲さんも応援に駆け付けていただき、「人も温かくて、和歌山県は素晴らしいところ。是非来てください。」とアピールされました。



・このキャンペーーン期間中は、次のようなイベントを実施していますので、御参加いただきますとともに和歌山にも是非お越しください。

○東京で巡ろう！和歌山ゆかりのスポット・スタンプラリー

実施期間：9月1日～12月6日

実施内容：都内にある和歌山県ゆかりのスポット(わかやま紀州館、六義園、高野山東京別院、新宿十二社熊野神社等)を訪ね、専用の応募用紙にスタンプを3個集めて応募。抽選で和歌山旅行や特産品等をプレゼント。

○わかやま講座の開催

実施期間：10月24日～11月28日 11月7日を除く毎土曜日(全5回)

場 所：早稲田大学エクステンションセンター早稲田校

内 容：「『日本人』のパーソナリティの原点－熊野」荒俣宏氏(博物学者)

「熊野と八咫鳥神話－熊野曼荼羅の絵解き」山本殖生氏(熊野三山協議会幹事)

「南方熊楠と熊野－南方マンダラの発生」田村義也氏(南方熊楠顕彰会学術部長)

「熊野三山信仰と熊野本宮大社」九鬼家隆氏(熊野本宮大社宮司)

池田雅之氏(早稲田大学教授)

「聖地・高野を次世代に繋ぐ」真砂充敏氏(田辺市長)

○日経ウーマノミクス・プロジェクト特別タイアップ・セミナー

大河ドラマ「真田丸」関連企画

「真田幸村の生き様に思いを馳せる“高野山・九度山”へのいざない」(仮題)

実 施 日：12月6日 14:00～16:00

場 所：日経カンファレンスルーム

内 容：平成28年1月から放送されるNHK大河ドラマ「真田丸」のプロデューサー等を講師に迎え、真田幸村ゆかりの地として九度山・高野山をアピール

・そのほか、大型トラックを世界遺産「高野・熊野」や双子パンダでラッピングし、都内を走行しての観光PRや、県観光キャンペーンスタッフによるテレビ番組生出演などの広報活動も実施しました。キャンペーンの詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kishukan.com/>

●和歌山のおもてなし満載「和み わかやまっぷ」発行！

・県では、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」をはじめ、県外から多くの方々が来県されるこの機会に、おもてなし向上を図るため観光地情報だけでなく、お食事処やおみやげ処などの店舗情報や各店舗のバリアフリー情報、地域のトイレ情報、お得なクーポンなど、お役立ち情報満載の冊子を作成しました。

・和歌山にお越しの際は、この冊子を持ってお得な旅をお楽しみください。なお、冊子は、県内宿泊施設、観光協会、旅館組合、観光案内所などに配置しています。

○発行部数：10万部 和歌山市・紀北エリア版、紀中・紀南エリア版各5万部

○掲載内容：和みわかやまっぷ（A4サイズ）

- ・県内全域の観光地や店舗のマップ情報

- ・バリアフリー情報、公共トイレ情報

※両エリア版は表紙のマークが異なりますが、掲載内容
は同じです。

和歌山よくばりガイド（A5サイズ）

- ・エリアごとの店舗情報

※エリア版ごとに掲載内容は異なります。

※「和みわかやまっぷ」に「和歌山よくばりガイド」をはさみ込んだ
ブックインブック形式になっています。

○特徴：お得なクーポン付き（平成28年3月31日まで）

QRコード等を活用し、お役立ち情報をそれぞれの詳細ホームページへ案内



●世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道シンポジウム「熊野の魅力を世界に」を開催！

・9月8日、県と県観光連盟は、中日パレス（名古屋市中区）において、世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道シンポジウム「熊野の魅力を世界に」を開催しました。このシンポジウムは、日本における宗教文化の交流と発展に寄与し、多くの人々を分け隔てなく受け入れてきた開かれた聖地「熊野」と、「熊野古道」の魅力や神體についてグローバルな視点で語り、その現代的な意義を発信すること、また、東海圏からの一層の誘客を図ることを目的として開催したものです。

・仁坂知事は、「グローバル化時代における、熊野観光の現状と展望」と題した基調講演を行い、約200名の参加者に、熊野は「寛容の文化」であり、古くから性別や身分、信仰などを問わず人々を受け入れてきた熊野の奥深さを話しました。また、熊野は今世界から注目されており、海外のガイドブックに熊野を自然豊かな聖地として紹介されるなど、多くの海外からの観光客が訪れていることをPRしました。

・続いて、国際熊野学会の 山本殖生常任委員が、「インドから飛んできた熊野の神様」と題した本邦初公開の熊野比丘尼の絵解きを披露され、参加者は興味深く聴き入っていました。その後、中日新聞社 小出宣昭社長がコーディネーター、熊野那智大社の朝日芳英宮司、熊野速玉大社の上野顯宮司、熊野本宮大社の九鬼家隆宮司、県観光局の山西毅治局長がパネラーとなって、「熊野信仰の神體を世界に」をテーマにパネルディスカッションを実施し、それぞれ熊野の魅力を語りました。

・引き続き、県と県観光連盟では、熊野の魅力を発信するとともに一層の誘客に力を注いでいきます。



●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の御案内

- ・先月号でも案内しましたが、寄附を通じてふるさと和歌山を御支援いただいている皆様に、ふるさと和歌山を味わっていただきたい、ふるさと和歌山の特産品を知っていただきたいとの思いから、今年度から、「お礼の品」を拡充しました。
- ・お礼の品は、プレミア和歌山の事業者から特別に提供いただいた梅干しや菓子類、飲料などで、1万円以上の御寄附をいただいた方に、次のページに掲載している魅力的な35品の中からお選びいただいた2品をお送りします。ただし、年度内(4月から翌年3月)におひとり様1回限りとなっています。
- ・例えば、1万円の御寄附をいただいた場合、お礼の品の中には市場価格が5千円を超えるものもありますので、合計1万円以上の商品を選ぶことができます。
- ・さらに、ふるさと応援寄附は、住民税などの税金の控除があります。例えば、1万円の御寄附をいただいた場合、所得税・住民税で8千円の寄附金控除を受けることができますので、大変お得にふるさと和歌山を味わっていただくことができます。
- ・是非この機会にふるさと和歌山応援寄附により、和歌山県が誇る優良産品(プレミア和歌山)を御堪能ください。



- ・ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。
- ・皆様のお知り合いの方々にも和歌山に対する思いとともに、ふるさと和歌山応援寄附を御紹介いただければ幸いです。
- ・引き続き和歌山県を応援してくださいますよう、よろしくお願ひします。

○寄附金控除のしくみ

(例)

寄附金 10,000円 の場合		
所得税 約800円	個人住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
控除額合計 約8,000円		

★お問い合わせ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地
総務部総務管理局税務課

担当 南、嶋村、岡田

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

☆お問い合わせ窓口☆

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮脇

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

平成27年度 お礼の品一覧

2品お選びいただけます！

商品分類	No.	商品の内容	商品分類	No.	商品の内容
梅干	1	紀州五代梅の心 10粒 (はちみつ梅干)	菓子類	19	紀州銘菓かげろう・柚もなかセット (かげろう 20個入り、柚子もなか 21個入り)
	2	幸いいろいろ (幸梅漬・しそかつお梅) 各 400g		20	プレミア和歌山詰合せ (梅グラッセ 5粒×2個・梅蜜 120g×1個・うめの塩 100g×1個)
	3	紀州産南高梅 はちみつ味 500g(塩分約 8%)		21	柚梅(ゆうばい)セット (古城梅・むろの柚各 10個入り)
	4	紀州五十五万石木箱 550g	海産物	22	銀鱗の輝 釜揚げしらす・ちりめん山椒 詰合(釜揚げしらす 260g、ちりめん山椒 240g)
	5	南高梅 500gと梅黒酢 290mlセット		23	紀州名産 なんば焼 300g×3枚
	6	紀州の逸品 (百花一粒まるの梅 500g、なんこううめジャム 200g×2本)		24	鯨大和煮セット 200g×3個
	7	紀州南高梅 菓 彩の舞 240g (16粒)		25	紀州勝浦まぐろ CAN (まぐろ水煮 90g×3缶 まぐろオイル漬け 90g×2缶・180g×3缶)
	8	勝喜梅 はちみつ仕立て「極」 12包入り		26	紀州あせ葉寿司 鯖 14個入り
	9	紀州みなべ南高梅 雪どけ 800g (塩分 8%)		27	イブの恵みハム・ワインーセット (あらびき 110g、チョリソー 110g、ももハム 150g、焼豚 150g)
	10	紀州南高梅 不動の梅 850g		28	和歌山 丸高中華そば (3食入×2セット・4食入×1セット)
飲料	11	100%ピュアジュース 10本セット (みかん 4本、きよみ・はっさく各 3本ずつ)	味噌・醤油他	29	金山寺味噌 瓊醤 330g×2個、450g×1個
	12	青梅シロップ・サン紀っす 詰合せ (希釀用)(720ml各 1本ずつ)		30	昔造り紀州金山寺味噌 600g×2個
	13	生姜丸しづり Wakayama Ginger Ale 24本		31	湯浅醤油詰合せ 3本セット 濁り醤 720ml 1本、湯浅たまり 900ml 2本
	14	大師の水 500ml×24本		32	熊野の塩セット 黒塩・梅塩・ゆず塩各 2個ずつ、炭塩 1個
	15	竹清水 高野 有機竹茶 500ml×24本		33	大吟醸「熊楠」 720ml
菓子類	16	天狗力餅 20個入り	酒	34	大吟醸紀伊国屋文左衛門(黒) 720ml
	17	くろさわ牧場のアイスクリーム ミルク味 8個		35	有田みかんスパークリングワイン セット (みかんシュワツ酒 330ml×6本)
	18	まるごと田村みかんゼリーセット 94g×12個			

今月の和歌山県政トピックス

●好評につき今年も「バニラヨーグルト 有田みかん」が日本ルナ(株)から発売！

- ・昨年に続いて今年も9月21日から6ヶ月間の期間限定で、日本ルナ株式会社(京都府八幡市)から、「有田みかん」果汁を使用した「バニラヨーグルト 有田みかん」が発売されています。この商品は、県がわかやま産ブランドの向上と販路開拓を目的に、大手食品メーカーに対し県産品を採用してもらうよう取り組んできしたこと、そして、株式会社伊藤農園(有田市)が味の開発に取り組まれたことで商品化されたもので、全国のスーパー、コンビニエンスストア等でお買い求めいただけます。
- ・同社の看板商品である「バニラヨーグルト」シリーズとして販売されたこの商品は、バニラのとろける甘みと「有田みかん」の爽やかな酸味がベストマッチで、昨年は、歴代の果汁シリーズのなかでも、過去最高の売上げを記録しました。
- ・パッケージには、県と民間企業とが県産品を活用して共同開発した商品を表すPRマーク「協力 和歌山県」が付され、商品紹介POPでは「きいちゃん」が、和歌山県を全国にPRしています。希望小売価格は、1個84円、3個入りパック237円(ともに税抜)となっています。皆さんもお買い求めのうえ、是非御賞味ください。
- ・県では、今後も共同開発商品を積極的に広報し、「有田みかん」のさらなる認知度向上を図っていきます。



●「わかやまジビエオータムフェスタ2015」を開催！

- ・県と 株式会社JTB西日本 和歌山支店 ジビエプロモーションチームは、9月25日から10月26日までの「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」開催期間に合わせて、わかやまジビエを県内外の方にPRするため「わかやまジビエオータムフェスタ2015」を開催しています。「わかやまジビエ」とは、安全・安心に配慮した県内産のイノシシとシカの肉で、そのブランド化を進めています。
- ・期間中は、県内の飲食店やホテル等45店舗で、「ジビエ料理」が提供されます。また、精肉店6店舗でも「ジビエ肉」が販売されます。参加店を掲載したパンフレットをJR和歌山駅や県内の道の駅に設置していますので、和歌山にお越しの際は、わかやまジビエをお楽しみください。
- ・なお、今年度も2月にジビエウィークの開催を予定しています。



●和歌山太陽誘電株式会社が印南町しらこ工業団地に工場増設

- ・この度、印南町に本社を置く 和歌山太陽誘電株式会社が、印南町印南原のしらこ工業団地に本社工場を増設することが決定し、9月24日、立地協定に調印しました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は144件となりました。
- ・同社は、電子機械部品の製造及び自動省力化機器の設計製作を目的として創業され、現在はインダクタ(コイル)を中心とした最先端の電子部品を製造しています。今回、より高品質、高精度な製品を安定的に供給することを目的として、現工場隣接地に新工場を設置する運びとなりました。
- ・新工場は平成28年4月に操業開始予定で、新規地元雇用者20名が見込まれています。

●「東京インターナショナル・ギフト・ショー 秋 2015」に県内企業が出展！！

・9月2日から9月4日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において開催された、日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市である「第80回東京インターナショナル・ギフト・ショー 秋 2015」に、県内から24社が出展しました。



・展示会には、全国のバイヤーなど3日間で約19万人が来場し、出展企業も2,548社と大変賑いました。

・県内から出展した各社も自社製品を大いにPRし、多くのバイヤーと商談を行うなど今後の販路の拡大が期待されます。

○出展企業

企業名	主な事業内容	所在地	主な出展製品
(株)アイセン、(株)アイワ、 (株)サンコー、サンベルム(株)、 オカ(株)、(株)オカトー、 東和産業(株)、(株)モノモード、 ヨコヅナクリエーション(株)	家庭用品	海南省	台所用品、バス用品、 アイデア用品、洗濯用品、 トイレ雑貨、 携帯電話ケース等
妹背漆器店、中西工芸(株)、 (株)角田清兵衛商店、 (有)橋本漆芸、(株)橋本達之助工芸、 (株)阿瀬眞三商店、(株)木重漆器店、 (株)島安汎工芸製作所、(株)若兆	漆器	海南省	ぬりものマグネット、 ストラップ、ノベルティ、 うるしの小物、トレー、 ギフト商品、木製漆器、 ダストボックス、仏壇、 インテリア商品等
(株)冬十吉佐商店		和歌山市	
オーヤパイル(株)	テキスタイル	橋本市	ハンカチ、バッグ、小物等
関西化学(株)	鉢、アクセサリー製品	御坊市	3次元アクセサリー等
大栄工業(株)	プラスチック製品	和歌山市	照明等
(株)セキネ	ジュエリー販売	有田川町	ジュエリー
溝端紙工印刷(株)	印刷	かつらぎ町	紙製品(箸袋等)、お箸

●大同生命保険株式会社が「紀の国わかやま大会」に特別協賛

・大同生命保険株式会社が、第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」に特別協賛されることとなり、9月11日、同社の工藤稔代表取締役社長から紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会会長の仁坂知事に特別協賛金1億円が贈られました。



・また、大会期間中(10月24日～26日)は、役職員等延べ約600人の方々が大会観戦やボランティアとして参加され、紀三井寺公園陸上競技場のきいちやん広場に「大同生命ブース」を設置し、選手や応援の皆さんとのふれあいの場を提供されます。

・同社は、平成4年の創業90周年を機に、社会貢献活動の一環として、同年に開催された本大会の前身である「全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)」の第1回大会から特別協賛を開始され、紀の国わかやま大会で23回目となります。

●医聖 華岡青洲シンポジウムを開催します！

和歌山県偉人顕彰シリーズ第5弾

医聖 華岡青洲シンポジウム

～没後180年 和歌山が生んだ麻酔手術の先駆者～

華岡青洲は、手術による痛みに苦しむ患者を救いたい一心で麻酔薬の開発に取り組み、多くの犠牲を伴いながらも、西欧医学に先駆けること約40年も前に麻酔薬を完成させ、世界で初めて全身麻酔による乳がん摘出手術を成功させました。現在では、この功績が世界に認められ、米国シカゴにある国際外科学会の「栄誉会館」に華岡青洲に関する資料が展示されています。

今年は、華岡青洲が亡くなつて180年を迎える節目の年であることから、改めてその功績を讃え、現代医療に与えた影響を再認識するとともに、広く全国の方々に知っていただきます。

日 時：平成27年12月5日（土）13：30～16：30

場 所：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン3階 アカデミーホール

住所：東京都千代田区神田駿河台1-1

出 演 者：酒井 シヅ（順天堂大学特任・名誉教授）

畠塙 義雄（和歌山県立医科大学名誉教授）

曾野 洋（四天王寺大学教育学部長・教授）

阪井 和男（明治大学法学部教授）

三田村邦彦（俳優）

仁坂 吉伸（和歌山県知事）

次 第：基調講演／酒井シヅ

「華岡青洲－日本の外科史に与えた影響－」

パネルディスカッション

申込先：明治大学リバティアカデミー事務局 <https://academy.meiji.jp>

電話 03-3296-4423

申込方法：電話またはホームページからお申し込みください。

（事前予約制、全席自由、先着1,000名）

・この偉人顕彰シリーズは、例年大変好評をいただいており、会場は常に満席となっています。お申し込みは、お早めにお願いします。



●全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」がいよいよ開幕！

・「紀の国わかやま大会」の開幕まであとわずかとなりました。開会式は10月24日ですが、10月18日からは卓球バレー(オープン競技)が始まります。温かい御声援をよろしくお願いします。

	会場地	会場	日程
開会式	和歌山市	紀三井寺公園陸上競技場	10/24
閉会式			10/26

<個人競技>

競技名		会場地	会場	日程
陸上競技	身・知	和歌山市	紀三井寺公園陸上競技場	10/24~10/26
水泳	身・知		秋葉山公園県民水泳場	10/24~10/26
アーチェリー	身	日高川町	南山スポーツ公園陸上競技場	10/25
卓球 サウンドテープルテニス	身・知 身	和歌山市	和歌山ビッグホエール 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	10/24~10/25
フライングディスク	身・知		上富田スポーツセンター多目的グラウンド	10/24~10/26
ボウリング	知	岩出市	紀の川ボウル	10/24~10/25

<団体競技>

競技名		会場地	会場	日程
バスケットボール	知	田辺市	田辺スポーツパーク体育館	10/24~10/25
車椅子バスケットボール	身	和歌山市	武道・体育センター和歌山ビッグウェーブ	10/24~10/25
ソフトボール	知	紀の川市	紀の川市粉河運動場	10/24~10/25
グランドソフトボール	身		紀の川市打田若もの広場	10/24~10/26
バレーボール	身	岩出市	岩出市民総合体育館	10/24~10/26
	知	海南市	海南市総合体育館	
	精	田辺市	田辺市体育センター	10/24~10/25
サッカー	知	紀の川市	桃源郷運動公園陸上競技場	10/24~10/26
フットベースボール	知	紀の川市	紀の川市粉河運動場	10/24~10/25

<オープン競技>

競技名		会場地	会場	日程
卓球バレー	身・知・精	和歌山市	和歌山県立体育館	10/18
車いすテニス	身	和歌山市	和歌山市立つつじが丘テニスコート	10/24~10/25

※身=身体障害者が出場できる競技

知=知的障害者が出場できる競技

精=精神障害者が出場できる競技



2015 紀の国
わかやま大会
第15回全国障害者スポーツ大会 運動と歡喜、そして幹

イベント情報(10月11日～11月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
10/11	笑い祭	日高川町・丹生神社	日高川町観光協会 0738-22-2041
10/11	みかん祭り	海南市・橘本神社	橘本神社 073-494-0083
10/11	泣き相撲	海南市・山路王子神社	山路王子神社 073-494-0455
10/12	えびすのお渡り	九度山町・古沢巖島神社	古沢巖島神社 0736-54-2723
10/14	須佐神社の千田祭り	有田市・須佐神社	須佐神社 0737-83-0195
10/15	熊野速玉大社例大祭	新宮市・熊野速玉大社、	熊野速玉大社
10/16	御船祭、神馬渡御式	阿須賀神社、熊野川	0735-22-2553
10/16 10/17	熊野三所神社例大祭	白浜町・熊野三所神社	白浜観光協会 0739-43-5511
10/17	稻むらの火祭り	広川町・ 役場前～広八幡神社	同祭り実行委員会 0737-63-6283
10/17 10/18	和歌山城まちなか キャンドルイルミネーション・竹燈夜	和歌山市・ 和歌山城とその周辺	竹燈夜実行委員会事務局 073-435-1234
10/17 10/18	木ノ本の獅子舞	和歌山市・木本八幡宮	木本八幡宮 073-451-5915
10/18	鹿島神社の秋祭り	みなべ町・鹿島神社	鹿島神社 0739-72-4573
10/25	吉田祭	御坊市・吉田八幡神社	吉田八幡神社 090-6206-1624
10/25	あげいん熊野詣	那智勝浦町・那智山周辺	那智勝浦町観光協会 0735-52-5311
11/1	太地浦くじら祭り	太地町・ふれあい広場	同祭り実行委員会 0735-59-2335
11/3	野中の獅子舞	田辺市・中辺路町	なかへち町観光協会 0739-64-1470
11/3	芳養八幡神社秋祭り	田辺市・芳養八幡神社	田辺観光協会 0739-26-9929
11/3	住吉踊(長野八幡神社例祭)	田辺市・長野八幡神社	田辺観光協会 0739-26-9929
11/3	寒川祭	日高川町・寒川神社	日高川町企画政策課 0738-22-2041
11/6～ 11/8	田辺・弁慶映画祭	田辺市・紀南文化会館	田辺市観光振興課 0739-26-9929
11/7 11/8	紀州漆器まつり	海南市・黒江川端通り	漆器まつり実行委員会 073-482-0322

自然・風物情報(10月中旬～11月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
10月中旬	大きがり(稲穂)	田辺市・龍神村	龍神観光協会 0739-78-2222
10月中旬	古代米の稻刈り	橋本市・杉尾	杉尾古代米の会 0736-37-5055
10月中旬	「あぶりアユ」シーズン	田辺市・中辺路町	なかへち町観光協会 0739-64-0501
10月下旬	ユズ初しぶり	古座川町・平井	古座川ゆず平井の里 0735-77-0123
10月下旬	富有柿収穫ピーク	かつらぎ町	J A 紀北かわかみ 0736-42-5361
10月下旬	アサマリンドウ咲く	みなべ町・天宝神社	みなべ町観光協会 0739-72-4949
10月下旬	コスモス見ごろ	有田川町・鷺ヶ峯コスモスパーク	有田川町役場 0737-52-2111
11月上旬	ジャバラ収穫始まる	北山村	北山村観光産業課 0735-49-2331
11月上旬	こも巻き	和歌山市・和歌山城公園	和歌山城整備企画課 073-432-0001
11月上旬	シキザクラ満開	白浜町・湯崎	白浜観光協会 0739-43-5511
11月上旬	橋杭岩ライトアップ	串本町・橋杭	串本町観光協会 0735-62-3171



ユズの果実は比較的大きく、果皮の表面はでこぼこしています。

古座川町平井地域は山深い小さな集落で、年平均気温が12～15度と、ユズ栽培に適した気象条件に恵まれています。

果実は酸味が強く生食には向きませんが、そのさっぱりとした風味の果汁は、和食をはじめ幅広い料理におすすめです。また、果皮はジャムや調味料としても利用されます。

～編集後記～

日中もすっかり涼しくなり、過ごしやすい季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。まずは、9月の関東・東北地方を襲った大雨で被害に遭われました方々に、お見舞い申し上げます。

さて、9月26日から開催されました「紀の国わかやま国体」も大盛況のうちに終了しましたが、和歌山県は昨年の15位から一気に男女総合優勝まで駆け上ることができました。県民の皆さん、そしてふるさと和歌山を応援してくださる皆さんのお熱い思いが成就したものであると、御声援に感謝申し上げます。

会期前競技の体操(競技)では、ロンドン五輪メダリストの田中兄弟も出場し、高難度の技を次々と決めるなど、会場を大いに盛り上げるとともに、団体優勝に貢献されました。また、女子体操(競技)やセーリング競技でも優勝を果たし、会期前競技終了時点で9位と好位置につけていました。

県民の期待はますます高まる一方で、競技はやってみるまでわかりませんので、日々ハラハラ・ドキドキの連続でした。そんな不安もよそに、県選手団の皆さんには、地元の大きな声援を力に変えて、実力通りの、あるいはそれ以上の好成績を収めてくれました。まさに、県民一丸となった勝利であると思います。水泳の50m自由形で優勝した富田選手の、「自分の力だけではここまでこられなかつた。応援が力になると強く実感した。」と感動と感謝のコメントが深く印象に残りました。

今回の優勝は、県民にとりましても大きな誇りであります、さらに嬉しいことは、私たちのおもてなしに気持ちよく過ごせたという声が多かったことです。このおもてなしの心を一時的なものにすることなく、今後も来県される方々を温かくお迎えしたいと思います。

国体では、皆さんの御支援もあり大成功に終えることができました。そして、今度は今月24日から県内で初めて開催される全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」です。今一度、力強い御声援をお願いします。

知事室秘書課長 中村 一人

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

2015年(平成27年)10月 NO.90

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022